天保六乙未暦

23
12-2上

国立国会図書館　タイトル『会津暦』　請求記号 寄別12-6-23
ガラス使用

奥州會津諏方宮
佐久祝岩城神方近

天保六年きのとのひつじ乃寛政暦六宿値年乃三百八十四曽

大さいのひつじの方　此方ニむかいて方は但木をきらゝす

大さいのうしとらの方　こゝ三年あらゝり

大歳ひとの方　此方ニむかいて方は

ひのえあさ

ののえうまより

ののえ方は

金神

うつ

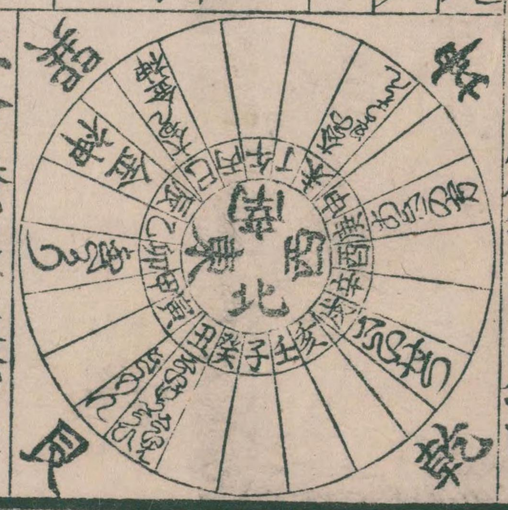
うつのひつじの方　むかいてゝまります

うつのとらのお　むかいてゝまります

うつのとらのの方　此方よりおめとります

ひのとうさんひつじの方　むかいてうさんめは

ひのとうさんの方　むかいて大小ゝたせちくるのめゝこめます



土公　春いうま　夏いうと　秋い井　冬い沉そ

正月小　二月大　三月大

四月小　五月大　六月大

閏七月小　八月大　九月小

十月大　十一月小　十二月大

国立国会図書館　タイトル『会津暦』　請求記号 寄別12-6-23
ガラス使用

正月小建戊寅心宿値月斗宿木曜値朔日

一日かのとうし　木　●
二日みずのえね　水　吉書始　ちくゆらゆらゆら

二月大建巳卯尾宿牛金あう

一日うのとら　木　ふく日つゆあらそう
二日うのたつ　　ふる日あさまきよし
三日うのみ　　大あう五むし日
四日うのうま　　天上ちう日めつのと地火入学よし
五日うのひつじ　土　弥ふく日井ろりよし
六日うのさる　　大あう五むし日
七日うのとり　金　弥よし月とく
八日うのいぬ　　十
九日うのね　火
十日うのうし　木　弥は毋倉月とくちう日ふるそすつろは

啓蟄二月甘ちの三刻大昏の出る日金　昼四十八刻　夜五十三刻六分六毛　昼五十三刻　夜四十七刻

十一うのとら　土　弥の毋倉ゆつのとのあとう日ふるまう
十二うのたつ　　五むし日ふく日ものうちよし
十三うのみ　金　大あうたつこゆつそうそうよし
十四うのうま　　天火ちうしゆく

十五うのひつじ　火　十
十六うのさる　土　弥よし大あう大白地火
十七うのとり　金　ちいこ
十八うのいぬ　木　弥よし大あう天おん毋倉ちう日ふく日
十九うのね　土　大あう天おんけんふくゆつそよし
廿うのうし　金　大あう天おん毋倉ちう日ふくゆつそよし
廿一うのとら　木　八せのもちゆ天むし毋倉ゆつのとうまう
廿二うのたつ　　出日天おんあさまきこうよし
廿三うのみ　土　月とくさこうそつゆとうよし
廿四うのうま　　昼五十刻余　夜四十九刻半余

春分二月中ちの初刻の出る日金　昼五十刻余　夜四十四刻半余

廿五うのひつじ　土　出日　十
廿六うのさる　　地火
廿七うのとり　火　弥よし大白地火
廿八うのいぬ　　大あう月とくちいとあさまきよし
廿九うのね
卅うのうし

六ノ二ノ七

国立国会図書館　タイトル『会津暦』　請求記号 寄別12-6-23
ガラス使用

三月大建庚辰箕宿虚日よろ

一日 うの〜 とる 木 ●
二日 うのの とり ゆゑる 大とゆう うるる日 ふく日
三日 ちの〜 いぬ あゆふ 中日 ●
四日 ちのの いぬ ある 水 八せんの中 ちう 世倉 ちう 日 ●
五日 ちの〜 ねる あゐん 天ゆん 世倉 月 ちく あつゆん
六日 ちのの ちと ひろく 日 井 ちう ●
七日 ひの〜 とる とう 天ゆん ふく 日 ●
八日 ひのの うる ちう 天ゆん 天火 ちう 〜 ゆく
九日 ちの〜 ちう のそく ●
十日 ちのの そく ちう 日 ふ ふ ふ

四月小建辛巳斗宿室火ようし

一日 ろの一 とら ひのえ 木 ちいとしいちにち
二日 うのの うし とら 卯あ一 ほそまーしるしまるまの一
三日 ろの一 とら ひのえ 木 大ようう 月とく 五む日
四 ろのの こ のえ ね 天一天上 世倉 ちう日
五 ろの一 むま とら 土 世倉天火ろ一 ゆくけんふ ふるものの一
六 ろのの ひと とら 金 八十八や 大ようう 五む日 ゆめ ゆめ 地火 ゆめ ろちは
七 ひの一 ろる ひえ 金 しるふ日
八 ひのの ろう とら 火 月とく
九 ろの一 いぬ ゆる 木 ふく日
十 ろのの い あま 木 ●
十一 うの一 ね あま 土 ろ一 く月とく

立夏四月 廿ろうの日刻合の出より日金七 昼五十六刻半余 夜四十三刻余 六ず六金七 昼六十二刻余 夜三十七刻半余

十二 うのの ひと ある 土 五む日 ろろ
十三 ろの一 とら あまえ 木 大ようう 世倉ふく日ゆめ ゆめ つめ ろろ
十四 ろのの う とら ふく 金 卯より一 世倉入ろみ さいろ ろろ

廿ク

十五 ろの一 とら とら 火 大ようう ●
十六 ろのの こ とら とら
十七 ひの一 むま のえ ね 大ようう
十八 ひのの ひと とら 金 ろる日ふく日
十九 ろの一 ろる ひえ 金 ちいと大ろ日地火
廿 ろのの ろう とら えま 土 十
廿一 うの一 いぬ とら 土 大ようう天ゆ月とくゆ ゆそ ひち ろち
廿二 うのの ね のう 金 卯は大ようう天ゆ ゆ ろち日ゆ ゆ ろ ろは
廿三 ろの一 ね あま 木 八せんのち ゆ天ゆ ゆ日ろ ろ ろ ろ ゆ ゆ ろは
廿四 ろのの と とる 木 廿日天ゆ ろ ろ
廿五 ろの一 とら あまえ 金 世倉ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
廿六 ろのの う ひる ふく 金 卯より一 世倉月とくゆ ゆそ ひち ろち

小満四月中 むまの四刻日の出より日金七 昼五十八刻半 夜四十一刻半 六ず六金七 昼六十四刻 夜三十六刻

廿七 ひの一 ろう とら 土 廿日大ようう
廿八 ひのの こ とら ●
廿九 ろの一 むま のえ ね 火 廿日ろる日

五月大建壬午牛宿壁水あう

一日 ひのとのひつじ 火 大あめつちうるふ日
二日 つちのとのさる 大あめつちうるふ日
三日 かのえのとり 木 十一
四日 かのとのいぬ 土 ほしまつり
五日 みずのえのしし 水 八せんのあそうらうるふ日 ちう日
六日 みずのとのね 土 天あんらいつき井そうよう
七日 きのえのうし 金 天あんはつとくとくまぬつあうは
八日 きのとのとら 火 天あん母倉ふく日ゆつのうつあうよう
九日 ひのえのたつ 火 弥ようの天あん母倉けんふくよう
十日 ひのとのみ 木 ●五むの日うるふ日
十一日 つちのえうま 土 ●
十二日 つちのとのひつじ 土 ●

芒種五月ちちの一刻 昏四ち日金 昼五十九刻半 夜四十刻半 六ち変 昼六十五刻余 夜三十四刻半余

十三日 かのえのさる 土 大あめつちうるふ日
十四日 かのとのとり 金 入梅 大あめつちうるふ日

十五日 みずのえのいぬ 金 弥ようの大あめつちうるふ日めつのん地火
十六日 みずのとのし 土 ●そうてむきうよう
十七日 きのえのとら 火 ●ちう日いちうち田うんよう
十八日 きのとのう 木 ●
十九日 ひのえのたつ 水 弥ようの大あめつちうるふ日のうちつあうは
廿日 ひのとのみ 木 母倉ふくことすつうよう
廿一日 つちのえのうま 土 大あめつちうるふ日 天あん母倉大ふくちいと
廿二日 つちのとのひつじ 土 天あんむきうよう田うんよう
廿三日 かのえのさる 金 ●
廿四日 かのとのとり 金 大あめつちうるふ日 天あんりきうの時
廿五日 みずのえのいぬ 水 天あんあくふく日田うんよう
廿六日 みずのとのし 水 十方うんれへ大あめつちうるふ日あきよう
廿七日 きのえのとら 木 ゆつうの地火日ちう日あう

夏至五月中いの六刻半 昼五十九刻半余 夜四十刻 六ち変 昼六十五刻半余 夜三十四刻 余

廿八日 きのとのう 土 月とく五むの日むきうよう
廿九日 ひのえのたつ 土 大あめつちうるふ日
卅日 ひのとのみ 火 ●

六月大建癸未女宿 要金ゆう

一日 ちのえのうし あめよ 火 むさうりつめとりよ
二日 うのとのとり あめ 木 毋倉ちこと井わりつめとりよ
三日 うのえのうま 木 毋倉月ちこと大ら目ちのと
四日 きのとのひつじ 水 大ちゆう五む日
五日 きのえのさる 水 天一天上 十
六日 ちのとのむま 金 天一やちりよ
七日 ちのえのうま 金 大ちゆう五む日田ちへよ
八日 ひのとのひつじ 火 ちちちく月ちく
九日 ひのえのさる 火 ふく日めつめん地火
十日 ちのとのとり 木 日ちまぬつよ
十一日 ちのえのいぬ 木 祢よ一ちう日いちちよ
十二日 うのとのね 土 十
十三日 うのえのうし 土

小暑六月廿六金聽ちの三刻合目あり昼五十九刻半余 夜四十刻半余 昼六十五刻余
十四日 きのとのとり 金 大ちゆう毋倉ちちそつめとりよ

十五日 きのえのうま 金 祢よ一毋倉天火ちゆくげんふくよ
十六日 ちのとのひつじ 火 大ちゆう月ちくちのとふく日
十七日 ちのえのさる 火 大ちゆう月ちくゆつめんゆちそよ
十八日 ひのとのむま 水 ●
十九日 ひのえのうし 水 ちちち日
廿日 ちのとのとり 土 ふく日ちちちちりよ
廿一日 ちのえのいぬ 土 大ちゆう天おん月ちくちのとふく日
廿二日 うのとのね 金 初伏大ちゆう天おん大ち目地火
廿三日 うのえのうし 金 大ちゆう天おんちう日
廿四日 きのとのね 木 八せんのちつめ天おんちちりちちの時
廿五日 きのえのうし 木 ちちの四刻入十
廿六日 ちのとのとり 水 月ちくちとりてつふとりよ
廿七日 ちのえのうま 水 祢よ一天火ちちゆのちちよ
廿八日 ひのとのさる 土 ちちゆつめんゆちのよ
廿九日 ひのえのいぬ 土 ちちゆつめんゆちのよ

大暑六月中ちの八刻目あり昼五十八刻余 夜四十刻半余 昼六十四刻 夜三十六刻
卅日 ちのとのひつじ 土 ちちち日ちう日
卅一日 ちのえのさる 火 ●

七月小建甲申虚宿昴日よう

一日ひのとのひつじ　火　大ばうらくふく日
二日　うのえさるのそく　中伏ばうりかたばうらくつまきよう
三日　うのとのとり　木　大ばうちのこと
四日　ひのえねのひ　土　ま日大ばうたち火
五日　ひのとのいのこと　土　八せんのあそりちう日
六日　ひのえねとる　金　らくく天おん月とくこうまう
七日　ひのとのうしゆる　金　十
八日　つちのえとらあふ　火　天おんつめとりよう
九日　つちのとのうある　火　神ゆう天おん天火らうあとすつらは
十日　かのえうまえ　木　天おん五むゆ日ふく日ゆつめん
十一日　かのとのことひく　木　くるゑ日ちう日ふく日
十二日　きのえむまとり　土　●
十三日　きのとのひつじとり　土　大ばうう毋倉
十四日　ひのえさるとり　金　神ゆう大ばうつ月とくこうまはりさとの附

立秋七月甘ひつじの五刻廿四分の過より日金　昼五十六刻半余　夜四十三刻余　六月　昼六十二刻余　夜三十七刻半余

十五日　ひのとのとりのそく　金　十
十六日　つちのえいぬとり　火　毋倉ふくゆ日らくてふものつは
十七日　つちのとのいうる　火　ちう日ゆつめん地火
十八日　かのえねとる　土　らくうよう
十九日　かのとのとらゆる　土　●
廿日　ひのえとらゆる　土　くくうよう
廿一日　ひのとのうあふ　土　大ばうう天おん日ばうまう
廿二日　つちのえうとり　金　末伏天おん毋倉ちのこと日ちうそは
廿三日　つちのとのこあえ　金　天おん大ばうたち日ゆつめんはまはは
廿四日　かのえむまひつく　木　大ばうう天おん月とくこうゆく
廿五日　かのとのひつじとり　木　天おん毋倉
廿六日　きのえさるとり　土　十方ゆつ大ばうふく日りさとの附
廿七日　きのとのとりのそく　土　十
廿八日　ひのえいぬとり　土　毋倉五むゆ日

處暑七月中ひつじの二刻半の過より日金　昼五十四刻半余　夜四十五刻余　六月　昼六十刻　夜四十刻

廿九日　ひのとのいうる　土　大ばうう月とくちう日ゆつめん地火

国立国会図書館　タイトル『会津暦』　請求記号 寄別12-6-23
ガラス使用

閏七月小隨節用之畢月あらう

一日	ひのえね	火	けんふくよし
二日	ひのとうし	火	●ふくよし
三日	つちのえとら	木	弟より一日とまりすつらよし
四日	つちのとうま	木	弟より二日とまりすつらよし
五日	かのえたつ	土	天一天上大こう日ちう日ひまたよし
六日	かのとうみ	土	弟より一日ふくにちの日天火ちう一ゆくふのよし
七日	みずのえうま	金	大こう母倉五むの日
八日	みずのとうひつじ	金	弟より一入ふよし
九日	きのえさる	火	
十日	きのとうとり	火	二百十日
十一日	ひのえいぬ	木	母倉くまぬりちちよし
十二日	ひのとうい	木	ちちう日ゆつめん地火
十三日	つちのえね	土	ふくにち
十四日	つちのとうし	土	●
十五日	かのえうし	金	大こう母倉ゆつめんよし

白露八月廿八日晓ねの刻合の出る日本国 昼五十二刻半余 夜四十七刻半余 昼五十七刻半余 夜四十二刻余

十六日	みずのとうゆみ	金	ゆつめんて田りよし
十七日	きのえとら	火	大こう母倉
十八日	きのとうあま	火	一十
十九日	ひのえうま	水	大こうゆつめん
廿日	ひのとうひつじ	水	●ゆつめんよし
廿一日	つちのえさる	土	天一天上大こう日天火ちう一ふくにちの時
廿二日	つちのとうとり	土	大こう天ぢん母倉月とくちのと
廿三日	かのえいぬ	金	大こう天ぢんちう日ふくにち
廿四日	かのとうい	金	八せんのちゆ弟より天ぢん大こう地火
廿五日	みずのえね	木	中の日天ぢん母倉竹木こうよし
廿六日	みずのとうし	木	ちこくまぬり田りよし
廿七日	きのえうし	水	しつるの日ふくにち
廿八日	きのとうゆみ	水	附ひんこうある大こう母倉
廿九日	ひのえとら	土	

八月大建乙酉危宿鬼火ようう

一日ひのとのとり　土　十一月

秋分　月中ちの四刻日の出より日入まで　昼五十刻余　夜四十九刻半余　六ゐ　春　昼五十五刻余　夜四十四刻半余

二日　ちのつのむまゆうぜん　火　祖明　めつのん　田うりよ

三日　ちのつのひとひるく　●

四　うのつのさるとら　水　大ちゆう　月とく

五　うのとのとうさう　水　ちゆう　日ふく　日天火ちうしゆく

六　ちのつのいぬのとく　ゐ　中日　毋倉ちいとへひまきよ

七　ちのとのひのとう　ゐ　八せんの　ちうちう　日入ようよ

八　ちのつのねうう　金　天ゐん　大ゐ　地火けんふくよ

九　ちのとのうとさえ　金　神よ　天ゐん　毋倉月とくふく日

十　ひのつのとうとる　火　天ゐん　ちうこつあとう　田うりよ

十一　ひのとのうゆる　火　天ゐん　田うりよ

十二　ちのつのううあふ　水　天ゐん　毋倉五む日ちうすつうよ

十三　ちのとのこある　水　十

十四　うのつのむまゆうぜん　土　月とく　めつのん

十五　うのとのひとひるく　土　●

十六　ちのつのさるとひるく　金　大ちゆう

寒露　九月　せつむまの一刻七日の出より日入まで　昼四十八刻　夜五十二刻半余　春　昼五十三刻　夜四十七刻

十七　ちのとのとうとう　金　神よ　大ちゆう　田うりよ

十八　ちのつのいぬうう　金　ちうちう　日田うりよ

十九　ちのとのいのとく　火　月とく　ちうこ　天火ちうしゆく

廿　ひのつのねとう　ゐ　十

廿一　ひのとのうとさえ　ゐ　●

廿二　ちのつのとうさえ　土　大ちゆう

廿三　ちのとのうとる　土　天ゐん　毋倉

廿四　うのつのううゆる　金　天ゐん　月とく　ちうこ　日ふく　日入まきよ

廿五　うのとのこあゆふ　金　神よ　大ちゆう　田うりよ

廿六　ちのつのむまある　木　天ゐん　毋倉大ゐ　地むとまき　田うりよ

廿七　ちのとのひとあえ　木　計の方ふれ　神よ　田うりよ

廿八　ちのつのさるひるく　ゐ　月とく　五む日

廿九　うのとのとうとう　土

卅　ひのつのいぬうう

九月小建丙戌室宿井木犴

一日　ひのとのひつじ　土　大ちゆう日

霜降九月中ちりの刻日出ル日入る　昼四十五刻半余　夜五十四刻余　変ル　昼五十刻半余　夜四十九刻余

二日　ちのとのね　とら　火　とらくくふく日　天火ならしゆく

三日　ちのとのうし　ぶら　火　十一

四　うのとのとら　ぶら　木　●

五　うのとのうし　とる　木　くるふ日

六　ちのとのう　ゆう　木　大ちゆう五むし日　くるふ日

七　ちのとのうし　あめ　水　天一天上　くるふ日　ちのとのうし日　りとのつの刻

八　らのとのむま　ちる　金　くるふ日

九　らのとのひつじ　ゆえ　金　大ちゆう五むし日　大くるふ日

十　ひのとのとら　ひらく　火　くるふ日

十一　ひのとのう　とら　火　くるふ日

十二　ちのとのね　ぬ　ら　木　くるふ日　ふく日　ちうまう

十三　ちのとのひつじ　のえ　木　ちう日　ふく日　田うりよ

十四　らのとのね　とら　土　とらこ　天火ならしゆく

十五　うのとのうし　ぶら　土　十一

十六　うのとのう　ぶら　金　大ちゆう　地火　ふく日　大ちゆう地火　ふく日

十七　ちのとのう　ゆえ　金　弟　大ちゆう　地火　ふく日

十八　ちのとのね　ぬ　ら　火　大ちゆう　地火　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

十九　らのとのこ　ゆう　火　大ちゆう　地火　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿　ひのとのむま　ぬ　ま　水　弟　天火ならしゆく　ふくちゆう日

廿一　ひのとのひつじ　ぶる　水　木　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿二　ちのとのう　とる　木　木　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿三　ちのとのとら　ひらく　土　●　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿四　うのとのい　とら　金　十一　大ちゆう　天ゆう　ふく日

廿五　うのとのね　ぬ　ら　金　大ちゆう　天ゆう　ちうまう　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿六　ちのとのう　ぶら　木　八せんのかち　ちうまう　ふく日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿七　ちのとのこ　とら　木　日　ふくちゆう日　ふくちゆう日

廿八　らのとのう　とる　水　月　とく　大くるふ日　地火　ふく日　ふくちゆう日

廿九　らのとのう　ぶら　水　天ゆう　ふくちゆう日　ふくちゆう日

国立国会図書館　タイトル『会津暦』　請求記号 寄別12-6-23
ガラス使用

十月大建丁亥壁宿鬼金羊

一日 ひのとうし 土 ま日ろうく大ぶつふく日
二日 ひのえね ろろ日ちう日
三日 ひのとうし 火 ま日神よ むさまさよ

小雪十月節 今晦日巳の日金 昼四十一刻半余 夜五十八刻余 変 昼四十七刻半余 夜五十一刻半余

四 ひのえたつ 大ぶつ月とくゆちうちとそうけつろは 火
五 ひのとみ 大ぶつ月 木 ●十
六 ひのえうま
七 ひのとひつじ
八 ひのえさる 土 ま日ふくく日
九 ひのとのとり 仏 仏せのあまろうろ日ちいとちう日りとろろの時
十 ひのえいぬ 天しやあらめよ 金
十一 ひのとうし ろろ日ろろ
十二 ひのえとら 天ぶつ日大ぶつ 火
十三 ひのとうさぎ 天ぶつ天火ろうしゆく
十四 ひのえたつ 天ぶつ五む日 木
ろろ日ちう日

十五 ひのとみ 土 うしまさよ
十六 ひのえうま 大ぶつ ●
十七 ひのとひつじ
十八 ひのえさる 金 大ぶつ月 仏倉ふく日 大ぶつ

大雪十月節 廿ちうの五刻半合の巳の日金 昼四十刻半 夜五十九刻半 六ぶ変 昼四十六刻 夜五十四刻

十九 ひのとのとり 火 八ぶつやく
廿 ひのえいぬ ちう日
廿一 ひのとうし 木ころうよ
廿二 ひのえとら 仏 大ぶつ月とくゆちうちとそうけつろは
廿三 ひのとうさぎ とそうけつろよ
廿四 ひのえたつ 土 ●
廿五 ひのとみ 天ぶつけんふくあめとりよ
廿六 ひのえうま 金 十
廿七 ひのとひつじ 大ぶつ天ぶつ月とくちいと天火
廿八 ひのえさる 木 天ぶつろうしゆく日
廿九 ひのとのとり 十ぶつろうしゆく大ぶつ仏倉
卅 ひのえいぬ 仏 田倉大ぶつ

十一月小建戊子奎宿星日よう

一日 ひのえ ね 九 土 五むし日
二日 ひのと うし 十 土 大ぶり月とくちう日ふく日
三日 つちのえ とら 一 火 くろむし日

冬至十一月中ひとの二刻日の出ゆ日入る 昼四十刻余 夜五十九刻半余 ※変 昼四十五刻半余 夜五十四刻余

四 つちのと う 二 火 りまぬりつめとりよし
五 かのえ たつ 三 木 ●
六 かのと み 四 木 大ぶり月とく五むし日ひつまり
七 みずのえ うま 五 土 天一天上 十 一
八 みずのと ひつじ 六 土 ちんこと天火ふく
九 きのえ さる 七 火 大ぶり五むし日ひのみちより
十 きのと とり 八 火 田倉ふくまあらより
十一 ひのえ いぬ 九 水 田倉月とく大ふく日
十二 ひのと ゐ 十 水 ひとまり くらてより
十三 つちのえ ね 十一 土 弟より ちう日ふくのりより
十四 つちのと うし 十二 土 井ゐりあり

佐々祝

十五 かのえ とら 十三 金 五むし日
十六 かのと う 十四 金 大ぶり月とくちう日
十七 みずのえ たつ 十五 水 ゆくそとのり
十八 みずのと み 十六 水 ●

小寒十二月中ちうの二刻日の出ゆ日入る 昼四十刻半余 夜五十九刻半余 ※変 昼四十六刻 夜五十四刻

十九 きのえ うま 十七 火 大ぶり大ふく日ちう日
廿 きのと ひつじ 十八 火 大ぶり月とくちう日
廿一 ひのえ さる 十九 木 弟より大ぶりくろむし日
廿二 ひのと とり 二十 木 ●
廿三 つちのえ ゐ 廿一 土 弟より田倉ふく日とそこけつりは
廿四 つちのと ね 廿二 土 ●
廿五 かのえ うし 廿三 金 大ぶり天ぶり月とふくちう日
廿六 かのと とら 廿四 金 大ぶり天ぶんちう日
廿七 みずのえ う 廿五 水 八十八のちめちう日
廿八 みずのと たつ 廿六 水 ま日 十一
廿九 きのえ み 廿七 木 つめとりくろむし日ふくちう

十二月大建己丑妻宿張月ゆう

一日きのえうし　水　日大ゆう　大ゆう日　地火
二日きのとうし　火　日大ゆう　大ゆう日　地火
三日ひのえこし　土　日大ゆう　大ゆう日　地火
四日ひのとむま　火　日神より　毋倉ちう日
五日つちのえたつ　水　日神より　毋倉ふく日ふくのうは　昼四十一刻半余　夜五十八刻余
六日つちのとうし　木　日大ゆう　ふく日
七日かのえとうし　水　日大ゆう　月どすちゐは
八日かのとうし　木　日めつめつ　まちこよし
九日かのえいぬ　水　八せんのあちらゐ日ちう日
十日かのとうし　火　天しゃよりのよし
十一日みずのえうし　金　十一
十二日みずのとうし　火　天おんすくちゐのつめちうよし
十三日きのえうし　火　神より　天おんすゐ　正月とちめは
十四日きのとうし　水　天おんゐ五むゐ日ふく日大ゆう地火

六月小建辛未宿張月ゆう

十五日ひのえこし　木　毋倉ちう日ふく日正月とちめの
十六日ひのとむま　土　毋倉月とちすちゐ正月とちめの
十七日つちのえたつ　土　大ゆう　大ゆうとしのそよ
十八日つちのとうし　金　大ゆう日ちう日のう
十九日かのえとうし　金　はつふん
廿日かのとうし　火

立春青月はつの刻合四ゆう日金ゆ　昼四十三刻半　夜五十六刻半余　変ゆ　昼四十八刻半余　夜五十一刻　余

廿一日みずのえいぬ　火　毋倉大ちう日
廿二日みずのとうし　水　毋倉月とく天火ちう一ゆく
廿三日きのえうし　水　大ちう　大ちうちのとものちう水ちうは
廿四日きのとうし　土　天一しゃよりのよし
廿五日ひのえうし　土　大ちう天おんゐちう三ちうのつちうは
廿六日ひのとうし　金　ちうく天おんゐ日ちう　まちう
廿七日つちのえこし　金　天おんゐ月とくちう日ゆつめ地火
廿八日つちのとむま　木　神より　大ちう天おんゐ地火
廿九日かのえたつ　木　天おんゐ
卅日かのとうし　水　十ちうちゐ三八大ちうよく日

天保五年出立表測景定節氣者

国立国会図書館　タイトル『会津暦』 請求記号 寄別12-6-23
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『会津暦』　請求記号 寄別12-6-23

ガラス使用